

地域計画

策定年月日	令和7年3月27日
更新年月日	令和7年 月 日 (第1回)
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	津島市 (232084)
地域名 (地域内農業集落名)	永和地区 (唐臼、中一色、半頭、鹿伏兎)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	122.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	122.6 ha
② 田の面積	115.8 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	6.8 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

・自作農家の高齢化が進行している中、5年以内での営農、農地貸借は確保できると思われるが、以降更に高齢化が進むと後継高齢者となる方が増加するため、急激に営農者が不足する可能性がある

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・永和地区の農地は水田の割合が多いため、今後も水稻の生産を中心に認定農業者等をはじめとした農業を担う者への農地の集積を進め、地域と担い手が一体となった一団的な農地運用による効率的な稲作を推進していく

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構への貸付を進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を推進する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	70.0	%	将来の目標とする集積率
			76.6 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農地中間管理機構の活用等により、農地の集積率は70%を超えているため、現状の集積率を維持しつつ引き続き団			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
作業受託の耕作農地は農地中間管理機構を通して担い手へ集約化する。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への農地集約を目指し、原則として機構を通して貸付を推進することで農業経営の安定および休耕地や耕作放棄地の事前予防に活用する

(3) 基盤整備事業への取組
地域の特性を踏まえて農村振興総合整備事業を活用し、農業用排水路及び農業集落排水路の整備をR7年度～R12
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
JAと連携し、将来に渡り適切に耕作が可能と見込まれる新規就農希望者に対しては融資を無利子にする等、融資制
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
現状なし。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

①鳥獣被害防止対策	②有機・減農薬・減肥料	③スマート農業	④畑地化・輸出等	⑤果樹等
⑥燃料・資源作物等	⑦保全・管理等	⑧農業用施設	⑨耕畜連携等	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	A	水稻	0.9 ha	0 ha	水稻	0.9 ha	0 ha	A	
認農	B	水稻	5.1 ha	0 ha	水稻	5.1 ha	0 ha	B	
集	C	水稻	42.1 ha	0 ha	水稻	42.1 ha	0 ha	C	
認農	E	水稻	23.5 ha	0 ha	水稻	23.5 ha	0 ha	E	
認農	J	水稻	6.9 ha	0 ha	水稻	6.9 ha	0 ha	J	
認農	N	水稻	2.5 ha	0 ha	水稻	2.5 ha	0 ha	N	
認農	R	水稻	3.1 ha	0 ha	水稻	3.1 ha	0 ha	R	
認農	S	水稻	1.8 ha	0 ha	水稻	1.8 ha	0 ha	S	
計	8経営体		85.9 ha	0 ha		85.9 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
-	-	-	-

6 目標地図(別添のとおり)